

プラン名 いざっ!学びあい対話!! (65%)

12か条+(プラス)  
2条  
6条

1 授業づくり

(1) 現状・課題 (R)

課題	現状 (科学的データ)
説明する際, 相手意識が低く, 算数用語が使えていないため, 曖昧な説明に終わってしまう。聞く側も何となく理解しているつもりの児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H31 全国学力調査 6年算数科①- (3) 29%</li> <li>・全国学力調査アンケート ⑧ (47) 算数の勉強は好きだ 57.2%</li> <li>・後期プラン 基盤「質問することができる。」△66%</li> <li>・県評価問題 (12月実施) 算数科 ⑤-3 正答率 57%</li> </ul> <p>[要因] ○課題に対して説明することへの抵抗感は少ない。 △順序を意識した記述はできているが, 用いる既習が明確ではない。 △算数用語を用いた説明が不十分であり, 内容が不明確である。 △聞く側も何となく理解しているつもりのため, 交流に深まりが見られない。</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

前期目標	具体的取組														
全員が話し合いに参加することができる。  ※学びの指針2条	<p>①【対話的な学び】を導く which 問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元当たり3割設定</li> <li>・一般化した課題</li> </ul> <p>例: 1dLで広くぬることができるのはどちらかな? A: 5dLで2㎡ぬれるペンキ B: 1/4dLで2/5㎡ぬれるペンキ</p> <p>②【深い学び】を導く問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な言葉は何でしたか。(修正)・この式の数は何を表しているかな。(確認)</li> <li>・○○さんの描いた図を説明できますか。(他者説明)</li> <li>・数直線を指し示して説明できる人はいますか。(深い理解) など</li> </ul>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価 (結果)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・参観シート①「which問題が有効であった」(平均2.5回/人以上)</td> <td>( 回)</td> </tr> <tr> <td>(研究授業)②「深い学びに導く問いかけができていた」(60%)</td> <td>( %)</td> </tr> <tr> <td>・授業評価(自己評価) which問題の3割設定</td> <td>( 割 分)</td> </tr> <tr> <td>・活用力問題 (正答率60%)</td> <td>( %)</td> </tr> <tr> <td>・児童アンケート「算数の勉強は好きだ」(肯定回答70%)</td> <td>( %)</td> </tr> <tr> <td>「意味」と「わけ」を質問できている」(肯定回答60%)</td> <td>( %)</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価 (結果)	・参観シート①「which問題が有効であった」(平均2.5回/人以上)	( 回)	(研究授業)②「深い学びに導く問いかけができていた」(60%)	( %)	・授業評価(自己評価) which問題の3割設定	( 割 分)	・活用力問題 (正答率60%)	( %)	・児童アンケート「算数の勉強は好きだ」(肯定回答70%)	( %)	「意味」と「わけ」を質問できている」(肯定回答60%)	( %)
評価項目	評価 (結果)														
・参観シート①「which問題が有効であった」(平均2.5回/人以上)	( 回)														
(研究授業)②「深い学びに導く問いかけができていた」(60%)	( %)														
・授業評価(自己評価) which問題の3割設定	( 割 分)														
・活用力問題 (正答率60%)	( %)														
・児童アンケート「算数の勉強は好きだ」(肯定回答70%)	( %)														
「意味」と「わけ」を質問できている」(肯定回答60%)	( %)														

(3) 検証と改善策 (C・A)

月	評価項目 (誰が, いつ)	結果	改善策
4	授業で大切なことの共通理解を図る。(研究主任・校内研修)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・which問題の共通理解</li> <li>・基盤の質問に重点を置くことを確認</li> </ul>
5	<input type="checkbox"/> 参観シート①②【6年研究授業14日】 <input type="checkbox"/> 活用力問題【県評価 検証 第4週】 <input type="checkbox"/> 授業評価①【週案 担任 該当単元】	① 2.4回②100% 47.4% 1割8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深い学びの共通理解</li> <li>・児童がねらいを達成するために, 教師がどのような発問をするのかを指導案に記載することを確認</li> </ul>
6	<input type="checkbox"/> 参観シート①②【1年研究授業12日】 <input type="checkbox"/> 授業評価【週案 担任 該当単元】	①6回 ②100% 2割7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・which問題は, 負荷のかかる問題提示が必要(再度共通理解)</li> <li>・目指す児童の姿, 使わせたい算数用語を明確にして授業に臨む。</li> </ul>
7	<input type="checkbox"/> 参観シート①②【2年研究授業3日】 <input type="checkbox"/> 活用力問題【県評価 検証 第2週】 <input type="checkbox"/> 児童アンケート【集計, 第3週】	① % ② % % %	

2 基盤づくり

前期目標	具体的取組	評価
友達の考えに繋がった「質問」をしたり「わかりません」と反応したりできる。  ※学びの指針6条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童同士の発言が繋がるプロセスを構築する。</li> </ul> <p>→児童が「意味」と「わけ」を区別して質問できたことを認めていく。 →教師が模範の質問の仕方を演示する。 →教師が説明したくなるのを我慢する。 →教師は児童が受容的な聞き方をしていなければ話を止める。</p>	

